

2021.08.29. 聖書預言・アップデート

主においての強さ

JD ファラグ牧師

おはようございます。日曜日の朝の第一礼拝へようこそ。日曜日の朝は、2つの礼拝をしていて、第一礼拝は、毎週「聖書預言・アップデート」第二礼拝は「聖書の学び」で、節ごとに、神の御言葉を学びます。現在「ヘブル人への手紙」で、みこころなら、今日は10章を学び終えます。現在「ヘブル人への手紙」で、みこころなら、今日は10章を学び終えます。今回は、神がどのように、世界で起きているあらゆることを用いられ、私たちに必要な最後まで耐え抜く忍耐力を生み出されているかを見ていきます。今回は、神がどのように、世界で起きているあらゆることを用いられ、私たちに必要な最後まで耐え抜く忍耐力を生み出されているかを見ていきます。それほど長くはありません。私たちは終わりの時にいますから。その学びを楽しみにしています。ハワイ時間11時15分からライブ配信します。また、ユーチューブでご覧の方は、フェイスブックは、理由があって現在配信していませんが、ユーチューブで今ご覧の方は、JDFarag.orgに直接行かれるのをお勧めします。ユーチューブで今ご覧の方は、JDFarag.orgに直接行かれるのをお勧めします。中断なし、検閲されない完全版の今日の「聖書預言・アップデート」をご覧になれます。始める前に、アフガニスタンの状況について手早くお話しします。まず、どうかどうかどうかお祈りください。因みに、神は人々の心の中で働いておられます。実際に現地で活動している組織があり、可能な限り多くの人々を国外に救出しています。神は、このような悪をお使いになり、こんにち生きている多くの人への救いという善をもたらせる唯一のお方です。次に、エゼキエル38章におけるアフガニスタンの預言的意義は、イエス・キリストの教会携挙がいかに近いかを示すものです。アフガニスタンは、私たちが参照する通り、エゼキエル38章に記されている、これらの国々の同盟の一つです。マゴグの地とは、こんにち”~スタン”で名前が終わる国々のことです。彼らは、イスラエルに侵略するこの同盟国の一部です。現在の我々も含め、多くの人々が信じているのは、このエゼキエル38章の預言が、実際携挙後に実現するだろうということです。つまり、今既にこのようなことが始まっているということは、質問はこうなります。

「どれほど私たちは近づいているのか？」そして、その答えとして確信するのは、「大変間近である。」毎週話している通りですね。そしてもう一つ。どうかどうかどうかメキシコ湾岸のためにもお祈りください。皆さんがご存知どうか分かりませんが、彼らは今、ハリケーン・アイダという嵐に遭遇しています。今朝ここに来る前に、確認したら、カテゴリー4の暴風雨でした。しかし現在メキシコ湾にあって、上陸するまでには、カテゴリー5（最強）になるかもしれません。まさに破滅的です。その地域、その州には多くのオンラインメンバーがいます。犠牲者が出ないように、また上陸するなら、神が人々に慈悲をくださるようお祈りください。今こうしている間にも、そして今日この後も、一日中です。人々のために祈り続けてください。

それでは。今日のアップデートは、ちょっと違ったことをします。私たちが置かれているこの危険な終わりの時に直面し、私たちは主において、いかに自分自身を強めることができるのかを皆さんと話したいと思います。私は、人生に起きていることを共有するため時間を割いてくださる多くの人々から話を聞いています。これらの話は胸が張り裂けそうです。胸が張り裂けそうだというのは、今、人々が経験していることに胸が張り裂けそうなのです。そして、人々は本当に戦いに疲れています。私たちがよく祈りを願われることの一つは、ただ前進するための力です。人々が私たちに頼んでおられるのは、

「私のために、私の家族のために、前進する力を祈ってください。」お許しいただけるなら、神の御言葉からの希望と励ましのメッセージを共有することで始めたいと思います。これは、自身がこのような疲労や落胆の中にいるあらゆるの人々のためです。先週、私は主との時間の中で、主がこれをしてくださるのが大好きです。なぜなら、主は再び「ご自分は常に忠実である」と仰い、聖書の中でも最も好きな箇所を私に思い出させ、そこに導いてくださったからです。聖書の全箇所についてそう言っていますが、特にこの箇所、「第一サムエル 30 章」です。その箇所を開いてご覧になるのをお勧めします。この章のいくつかの節を見ていきましょう。ここで何が起きているのか、その背景を説明しておきます。まず第一に、ダビデは良い状況ではありません。彼はペリシテ人の土地にいて、逃げ回っているような感じで、あまり良い状況ではありません。ダビデは 600 人の部下を連れていて、彼らは強靱な男たちです。闘う男たち、男の中の男です。600 人の戦いの戦士たちです。彼らは 3 日間、約 120Km を戦いながら移動しています。彼らはずいぶん、自分たちの陣営、自分たちの居場所である、「ツィクラグ」と呼ばれる場所に戻って来ます。しかし、彼らの妻や子どもたちがアマレク人に捕らえられていたのです。彼らが、ツィクラグに着くと、全てが燃やし尽くされていたのを知ります。皆さん想像される通り、ダビデと 600 人の戦士は打ちのめされました。これから見ていきますが、この強靱な戦士たちは打ちのめされ、激しく泣いて涙を流すのです。それ以上泣くこともできないほどに。彼らには、もう泣く気力すらないのです。

「第一サムエル 30 章 3 節～4 節」をお読みします。

第一サムエル 30 章

3 ダビデとその部下が町に着いたとき、なんと、町は火で焼かれていて、彼らの妻も息子も娘も連れ去られていた。

4 ダビデも、彼と一緒にいた兵たちも、声をあげて泣き、ついには泣く力もなくなった。

皆さん、あまりにも打ちのめされ、もう泣くこともできなくなるほど激しく泣き、疲れ果てたことはありますか？ 唸ることもできないような状態でただひたすらに打ちひしがれる。この時点での彼らの状況は、とても激しいものでした。絶望の中で泣きながら、ダビデの部下たちは、実際にダビデに矛先を向け、彼を非難し、殺そうとまで言っているのです。それが 6 節にあります。

6 ダビデは大変な苦境に立たされた。兵がみな、自分たちの息子、娘たちのことで心を悩ませ、ダビデを石で打ち殺そうと言い出したからだった。しかし、(ここが大事です) ダビデは自分の神、主によって奮い立った。

このように始めた理由は、今日の多くの人々は、言わば、自分自身のツィクラグにいるからです。そして彼らは当然ながら、大いに悩んでいます。そんなダビデのように、ダビデ同様、私たちにできることは、付け加えるなら私たちにできる唯一のことは、私たちの神、主にあって自分を強めることです。どうやって？ と質問が出ます。どうやって、私たちは主において自分自身を強めるのか？ 答えは、主に立ち返るのです。そして主に尋ねるのです。これがダビデのしたことです。8 節、

8 ダビデは主に伺った。「あの略奪隊を追うべきでしょうか。追いつけるでしょうか。すると、(神が) お答えになった。「追え。必ず追いつくことができる。必ず救い出すことができる。」

ダビデは、主において自分自身を強めるために主に尋ねたのです。エブヤタルがエポデを持ってきました。エポデとは、実際に神の御言葉、神のみこころ、神があなたにさせようとしておられることは何かを見極めるためのものです。これが、私たちが主において、自分を強める方法です。当たり前のことを、把握しているように見えるかもしれませんが。そうであればいいのですが。私がこれを言うと、皆さんお分か

りになるでしょう。皆さんこれを知り、私はこれを知り、私たちは、これを知っています。しかし、主にあって自分を強める方法は、私たちが祈り、主に問いかけることです。私たちが主に祈り、尋ねるとき、私たちは主から、主からの保証の御言葉を受け取ることができるのです。ダビデは、主において自分自身を強めています。なぜか？ なぜなら、彼には主の御言葉、保証があるからです。なぜか？ 彼は主に祈ったからです。シンプルでしょ？ 私たちはこれを知っていますよね。本当にシンプルなのです。事実、もう一步踏み込んで提案したいのは、神は私たちに、ツイクラグをもたられます。この理由のために、です。神には、暫く私たちからの連絡がありません。あ～私たち急がしいから。本当に忙しすぎて、祈る暇がないのですか？ 忙しすぎるから祈らないのではない、と言わせて頂きます。私自身の人生で、神は私を、ツイクラグへ連れて行かれました。幾度となく、私を自分の限界まで連れて行かれました。私が主にあって自分を強めるため、主に尋ねることによって、主に立ち返るために。なぜなら主は、私と話されたいからです。主は、私に何をすべきかを示されたいのです。主は私に何をすべきか伝えたいのです。どうやって神は、私に何をすべきか教えてくださるのでしょうか。お～ここ（聖書）にあります。

「主よ、私はどうすればいいですか？ 彼らは、私の家族を連れて行きました私は全てを失いました。すべてが焼き尽くされてしまいました。私の部下でさえ、私に矛先を向け、私を殺したがついています。主よ、私はどうすべきでしょうか？」あなたは、主の御言葉を聞くのです。そうしてダビデは、主の御言葉で、主において自分を強めていったのです。そして、それはドラマチックなのです。今、ダビデは主において自分を強め、主にお聞きしました。そして摂理的、奇跡的に示され、神は約束した通りのことをして下さるのです。そして、ダビデと 600 人の部下は出発しました。約 19Km のところへ来ると、ベソルの谷の谷間のベソル川、溪谷にたどり着きます。600 人の内の 200 人が、こう言います。

「行きたいけれど、無理です。もう私たちには力がありません。」

ダビデは彼らに言います。

「分かった。構わない。ここに留まりなさい。我々が行くから。」（第一サムエル 30：9 参照）

そして、ダビデと 400 人は追撃を続けました。そして、一人のエジプト人に遭遇します。アマレク人の奴隷だった人です。（第一サムエル 30：11 参照）

これを、神の引き合わせと言います。皆さんに、神の御言葉を読む時間の中で、「第一サムエル 30 章」に時間を費やすことをお勧めします。とにかくただただ魅力的なのです。なぜなら、考えてください。

ダビデと 400 人の男たちは、主の御言葉、主の指示を得た今、急いでいますよね。

「行きなさい。家族を見つけるのです。家族を取り戻すのです。すべてを取り戻すことができます。ちなみにそれ以上を、です。」そしてここに、明らかに死に至るよう見捨てられた男がいます。

「時間がないから、行かなくては！！！」と思うでしょ。しかし面白いことに、ダビデの部下たちはこのエジプト人をダビデの所へ連れて行きます。ダビデはこのエジプト人に質問を始めます。男は言います。

「私は死ぬためにここに置き去りにされ、3日3晩ここにいました。」

彼らは男に水を飲ませ、基本的に命を助け、食べ物を与え、元気を取り戻させるのです。それからダビデは、男にさらに尋ね始めます。結果的には、なんという偶然でしょう。この男はアマレク人と一緒にいたアマレク人の奴隷だったんです。彼はダビデにこう言いました。

「私たちはツイクラグという場所に行きました。」「お～本当に？」

「ええ、私たちは全員を捕虜にし、戦利品を略奪し、焼き払いました。」（サムエル上 30：14 参照）

ー「ふむ。」そこでダビデは、これは主がなさっているのを分かっています。

ダビデは彼（その男）に言った。「その略奪隊のところに案内できるか。」（第一サムエル 30：15）

男は言います。「はい。でも1つ条件があります。私を殺さないでください。」自分がその略奪隊の一人だったからです。

ダビデは言います。

「決まりだ。あなたの命を守ろう。彼らが行った場所に案内しなさい。」男はそうします。彼らは行くのです。彼らは行って、戦います。これ聞いてください。彼らは夕暮れから次の夕方まで戦うのです。彼らはアマレク人を倒しました。アマレク人が宴会をしていたからです。彼らは酒を飲み、酔っぱらい、二日酔いだったのです。そして彼らを倒し、家族を取り戻したのです。彼らには何の被害もありませんでした。

ダビデは、アマレクが奪い取ったものをすべて取り戻した。（第一サムエル 30：18）

ああ、そしてボーナス、追加料金なしで、ダビデ達は彼らの戦利品も奪いました。娘も息子も妻も無事です。彼らは、元来た道に戻り、あの溪谷のところに来ました。ベソルの谷の谷間のベソル川、溪谷です。進み続けることができなかった、200人の男たちの表情を想像してください。繰り返しますが、彼らはしなかったのではなく、できなかったのです。これが重要になってきます。今、彼らに戻ってきます。地形がどうであったか分かりませんが、私は遠くから、遠方から聞こえてきたことを想像し、思い浮かべています。恐らく彼らは、妻や子どもの声も聞こえたのでしょう。そして彼らが谷を越え、角を曲がるのを見た時、子どもたちを抱きしめ、妻を抱きしめキスして再会したのが想像できますか？ まあ、それも束の間、少なくとも当面は、ダビデと一緒にいった400人の男たちは、行けなかった200人の男たちを残したからです。お～その話ご存知ですね。ネタバレです。

「あなた方は妻や家族を受け取り、連れて行くが良い。しかし私たちが手に入れた戦利品は受け取れない。」（第一サムエル 30：22 参照）

興味深いのは、この記述には、その200人の男たちからの抗議や反応の話が一切出てこないことです。再会しただけでも大喜びだったと思います。

「わたしの家族よ。大丈夫か。大丈夫なのか。」「ええ、大丈夫よ。」

そして、このような男たちがいること。彼らもまた、彼らの部下なのです。彼らは彼らの兄弟であり、友人であり、何度も一緒に戦ってきました。

「妻や子どもを受け取り、去りなさい。あなたたちは、戦利品は受け取れない。一緒に戦いに行かなかったのだから。」

そしてダビデは、これが私の大好きなダビデの復活ですね。ダビデが戻ってきました。あのダビデがここにいますダビデは彼らに言います。

「何だって??原文をかなり緩く言い換えています。しかしダビデはその男たちに言います。

「それはダメだ。あなたたちは、”自分たちが”戦利品を手に入れたと言っているのか? そうではない、主がなさったのだ。主がそれを手に入れられたのだ。弱わり、疲れていて、疲れ切って、戦場に出られない者たちは、戦場に行くことができなかったのだ。彼らもまた戦った者と同じように分かち合うのだ。」

（第一サムエル 30：24 参照）

お～つまり、これを考えてみてください。すべてを変えた2つの親切な行為。因みに、この2つの親切は、弱くて、力のないものに対してで、まず死の淵にあるエジプト人が始まりでした。そして3日目によ

みがえった/元気を取り戻した。これは類型論です。そして、この200人のもとに戻って、優しさ、恵み、慈しみ、思いやり、愛。木曜の夜の礼拝で、「イザヤ書40章」を学びました。イザヤ書40章は、私が聖書の中で最も好きな章の一つです。第一サムエル30章とその他のすべての書と共に。しかし、いやこれは皆さんこの章ご存知ですよ。弱い者、疲れた者を、神がどのように慰め、強めてくださるかという内容なのです。福音書の中で非常に興味深いのは、イエスが常に最後の者や最も小さい者に惹かれておられたということです。イエスがいつも引き寄せていたのは、弱者、言わば医者が必要としている人たちです。イエスが惹かれたのは、売春婦や言わば麻薬の売人、落ちぶれた人、疲れた人、重荷を負う人など、最後の、最も小さな者です。因みに、救世主の口から出た最も厳しい言葉は、当時の宗教指導者に向けられました。

「偽善者よ。おまえたちは白く塗った墓だ。」(マタイ 23:27 参照)

「蛇よ。まむしの子孫よ。」(マタイ 23:31)

つまり、なんというか、これは、会堂の長老たちです。サマリヤ人の女性が、井戸にやって来ました。彼らは言います。

「男が女に声をかけることはない。ましてやサマリヤ人には。」イエスはそれに気づかれます。彼女は傷ついていました。理由は分かっています。彼女はさらに別の恋愛をしています。それは不健康な関係です。彼女は、この井戸に水を汲みに来ました。イエスは彼女に仰いました。

「わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことはありません。」(ヨハネ 4:14)

「イザヤ書40章」28節から31節を読みます。

イザヤ 40

28 あなたはならないのか。聞いたことがないのか。主は永遠の神、地の果てまで創造した方。疲れることなく、弱ることなく、その英知は測り知れない。

神は弱い者に力を与えられるのです。強い者ではなく、弱い者に。

29 疲れた者には力を与え、精力のない者には勢いを与えられる。

30 若者も疲れて力尽き、若い男たちも、つまずき倒れる。

31 しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、驚のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れぬ。

これは誰のためのものですか？ 弱い者のため。(JD 牧師挙手中) 私は力が必要です。これは誰のためのものですか？ 疲れた者のためです。私は疲れています。お～ これはあなたのためです。これはあなたのためです。私は使徒パウロを思い浮かべます。このことについては、「ヘブル書」の学びで、持久力・忍耐・強さについて詳しく話します。使徒パウロは、私がこう見ることができるなら、大胆にも、自分の弱さを誇りにしています。本当に？ 待って、ちょっと待って。自分の強さを誇るのでは？ いいえ、私は自分の弱さを誇ります。どうやって、パウロ？ 聞いてくださり嬉しいです。14年ほど前に、こんな人がいました。彼は自分のことを三人称で話します。第三の天に引き上げられた人です。彼は見せられたのです。言葉に出来ない、言い表せない栄光を。つまり、あり得ない。彼はそれを垣間見たのです。

しかし神は、 私たちが舞い上がる傾向があることをご存じです。私たちは浮かれます。神が、その栄光がどのようなものかを私に垣間見せるため、天に引き上げられたら、ほ～私は皆さんにお知らせします。

本を書きますよ。巡回公演に行き、話します。「神は私を、第三の天に引き上げました！」

そうでしょ？ 皆さんだって同じことをしますって。では、神はどうやって、パウロを地上に留められた

のでしょうか。お～、彼に肉のとげを与えられました。それって何ですか？ 分かりません、意図的にです。なぜなら、それが何であるかを知ったら、憶測が多いのはわかりますが、神の御言葉が沈黙しているときは、私たちは沈黙するのが良いでしょう。私たちは知りません。もし知っていて、それが自分が苦勞するものでなければ、私たちは却下するからです。意図的に空欄になっているので、私たちは自分の人生にその空欄を、自分の肉のとげで埋めることができます。それが何か、自分が分かります。何度も「このことを取り除いてください」と祈ったことでしょう。

「神よ、これをもし、もし、これをどうか～」パウロは神に懇願します。彼の祈りへの神の答えをご存知ですね。因みに、神はいつもあなたの祈りに答えられます。ただ、神が仰る答えが気に入らないかもしれませんが。パウロへの答えは「ノー」「ノーですか？」「そうです。」「なぜですか？」

「パウロ、あなたは、私にしてほしくない筈ですから。」「なぜなら、あなたの肉のこのとげが、あなたを完全に完璧に私に依存させ続け、あなたを謙虚にし、私に頼らせ続けるのです。」分かっているようでいて、時々疑問に思うことがあります。私たちは、柔和と弱さが同義だと信じて思い込んできました。本当ではありません。イエスは柔和なお方でした。イエスが弱い方ですって？ あり得ません。弱さと柔和さは、同義ではありません。その弱さが、柔和さのきっかけになります。再度言わせてください。弱さは柔和さと同義ではありません。弱さは柔和のためのきっかけです。

「パウロ、私はあなたの肉に一つのとげを残します。そうすれば、あなたは自分の弱さの中で、自分が強いと気づくでしょうから。お～、あなたの強さではなく、私の強さです。」

”わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は 弱さの内に 完全にあらわれるからである”

(第二コリント 12:9)

だからこそ、パウロは言うのです。

「OK。私は弱いから、あなたの力で完全なものになりたいのです。あなたの力が欲しいのです。主よ、私はあなたの強さを必要とします。あなたは私たちの問題は何かご存知ですね。私たちは、自分たちの力で強すぎるのです。自分の強さで、自分の力でやろうとします。神は、忍耐強く待っておられます。そして、神はとても長い間苦しんでおられます。私は自分自身に話しているんですよ。

「おい、ほらまた JD だよ。自分の力でやり遂げようとしてるね。私（神）は待つだけ。見てるのはつらいけどね。必要もないし、とても不要なのに。すべての痛み、苦勞、苦しみは、彼が弱さの中で私のところに来たなら、パッと消えるのに。私は、彼に私の力を与えたでしょうに。」

神が与えてくださる強さというのは、主にあって自分を強めるとき、それは主の強さであり、弱い者のためにのみ用意されているのです。それが強さがある場所なのです。私はほとんどこのように想像しています。神はいつでも準備され、私たちが神の下へ来るのを待っておられます。

「主よ、私は弱いですが、あなたは強いです。」そして、私たちの弱さの中で、神は仰います。」

「OK。私を見ていなさい。」「私があなただけを強くします。私があなたに私の力を与えます。」

これが私の言いたいことです。神は、私たちをこの世から連れ出されるまで、この世の試練を乗り越える力を与えてくださいます。彼は出来ない、が御出来になりません。今起きている全てに関して、神は、私たちがこの悪の世界から連れ出されるまで、この悪の世界を乗り越える力を私たちに与えて下さるのです。私たちはこの世にいますが、この世のものではありません。この世は私たちの家ではありません。世界は、日を追うごとに、どんどん邪悪になっていることに同意しますか？ その意味が分かるでしょう？ そのおかげで携拳がいつ起こってもおかしくありません。そう言う理由は、どうかお付き合い

ださい。聖書預言は、終わりの時に、戦いに疲れ、少しばかりの力がある教会について語っています。

(黙示録 3:8 参照)

言い換えれば、携挙の時の教会の状態は、こんにちのイエス・キリスト教会の状態正確に表しています。神の御言葉を守り、イエスの御名を否定せず、わずかな力でかろうじ持ちこたえている教会です。

「ヨハネの黙示録 3章 7節～13節」イエスが聖霊によって、使徒ヨハネに7つの教会宛に書かせた手紙の1つで、フィラデルフィアの教会に宛てたものです。8節で、イエスは彼らを称賛されます。それは、皆さんが主が彼らを称賛すると考えるものではありません。イエスが彼らを称賛する理由は何だと思えますか？ こう仰います。“あなたには少しばかりの力があって、”それは非難ではありません。ほめておられるのです。なぜか？

“わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。” (黙示録 3:8)

その意味するところは、主の御名を否定した者がいたということです。つまり、その時期に、教会に行っても、イエスの御名を口にする教会を見つけるのは難しいでしょう。礼拝でも、イエスという言葉は出てきません。今日の賛美は素晴らしかったですね？ 皆さん、あの曲、昔のあの賛美歌、♪「私はイエスに従うのを決めた。決して振り返らない。決して後ろを見ない。この世をあとにして、”じゃあさようなら～あなたみたいになりたくないわ。”十字架を前にして。誰も一緒じゃなくても、ついていく。私はイエスに従うのを決めた。」♪

イエスの御名は、私たちが救われるために与えられた唯一の御名前です。(使徒 4:12 参照)

だからこそ、イエスの御名を口にすると空気が止まるのです。言葉も変わります。気づいていましたか？ 誰かと会話をするときに、「JDは何の略ですか？」と聞かれるのが大好きです。私は彼らに言います。

「イエスの弟子の略です。」するとこんな感じです。「お！私のフランス語をお許してください。」「ねえ相棒、それはフランス語じゃないよ。」しかし、すべての名前に勝るイエスの御名を宣言するのです。だからこそ、話の流れが大きく変わるのです。

若かった頃、色んな会話を覚えています。会話を始めたいと思ったので、別名、法的な別名、ニックネームとして、JDを選んだわけです。人々が私の名刺を見て、ワヒド・J.D.・ファラグを見て、

「ねえ、JDは何の略？ ジャック・ダニエル？」すると私はこうなります。「OK。(上を見上げて) いきますよ～！！」「いや、ちょっと違うかな。」

まあ、とにかく、この(フィラデルフィアの)教会は、イエスの御名を否定しません。神の御言葉も否定しません。彼らは守りました。彼は10節で続けます。

ヨハネの黙示録 3章

10 あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、地上に住む者たちを試みるために全世界に來ようとしている試練の時には、わたしもあなたを守る。

そして彼は言います。

11 わたしはすぐに来る。あなたは、自分の冠をだれにも奪われないように、持っているものをしっかり保ちなさい。

「頑張るのです。私はあなたが、かろうじて耐えているのを分かっています。あなたが糸一本で持ちこたえているのを分かっています。あなたには少しばかりの力しかないのを分かっています。あなたが疲れているのを分かっています。しかし、私は来る、私は来る。そして、私はあなたを守ります。あなたが私の言葉を守り、忍耐強く耐えるようにという私の命令を守ったからです。あなたは私の名を否まなかつ

た。あなたは私の言葉を守った。私があなたを患難から守ります。持ちこたえなさい。」

そう、それが私の言いたいことです。はい、すみません。少しペンテコステ的になってしまいましたがしかしそれが、終末の時に描かれた教会です。皆さん、繋がりましたか？

「私はあなたをこの世界から連れ出すのです。頑張りなさい。地上に住む者たちを試みるために、全世界に来ようとしている7年の患難時代の前に。」これは、聖書の中の2つの預言と一致しています。どちらも、携挙の時の教会の状態を語っています。一つは「第二テモテ4章1～4節」です。使徒パウロが聖霊によって、教会牧師であるテモテに手紙を書いています。

第二テモテ 4章

1 神の御前で、また、生きている人と死んだ人をさばかれるキリスト・イエスの御前で、その現れとその御国を思いながら、(待ちきれません) 私は厳かに命じます。

2 みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。忍耐の限りを尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。

そしてその理由が、次の3節です。

3 というのは、人々が健全な教えに耐えられなくなり、耳に心地よい話を聞こうと、自分の好みにしたがって自分たちのために教師を寄せ集め、

(私はそういう時が既に今だと思えます) そして次の4節ですが、注意してお聞きください。

これは意図的です。そしてそういえば、7つの教会に宛てた7つの手紙の締めくくりと一致しています。

耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。(黙示録2章3章)

ですから彼らは、どうやら聞く耳を持っていないようです。自分たちが”聴きたいことを聞く”のにうずうずする耳があるのです。そして、彼らが聞きたいこと「大丈夫～！元通りになるよ。すべてがうまくいくよ。」と伝えられないなら、私だって、それが聞きたいです。しかしそれは真理ではありません。これは、こんにちの教会を表していると思えます。同意しますか？

教会で健全な教義が教えられていないことに加えて、教会をあざ笑う者がいます。教会とは、キリストの御言葉を守り、キリストの再臨を信じ、キリストの御名を否定しない、キリストにおける兄弟姉妹で構成されるキリストの体という意味で言っています。「第二ペテロ3章3節～4節」、

第二ペテロ 3章

3 まず第一に、心得ておきなさい。終わりの時に、嘲る者たちが現れて嘲り、自分たちの欲望に従いながら、

(興味深いですね)

4 こう言います。「彼の来臨の約束はどこにあるのか。父たちが眠りについた後も、すべてが創造のはじめからのままではないか。」

「私の、曾祖父の曾祖父の、曾、曾、曾祖父は、自分が生きている間にあると思っていたけれど、まだじゃないか！！」

「頼みますよ。牧師さん、あなたはこの17年間、ずっと携挙が起こると言い続けていますね。」

実はもっと前からです。39年前から言い続けています。ちなみにずっと言い続けるつもりです。まあ、実際には、もう言わない日が来るでしょう。なぜなら、私は携挙されるからです。これらの預言や、それに類する多くに共通しているのは、このような終わりに向かって推移しているということだけではなく、終わりに近づくとつれ、さらに悪くなっていくことです。

しかし、『耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』主に信頼し、主において自分を強める時があるとすれば、今がその時です。恐らくここにおられる方か、オンラインで見ている方、物事はここまで酷くなってしまったのです。だからこそ、あなたはここにいるか、オンラインで見ているのです。それは良いことだと思います。先に進めたいので、ここでユーチューブでのライブ配信を終了します。いくつかのことについて話す必要があります。

一本編一

物事は、本当に悪化していています。おそらく、言うまでもないでしょう。しかし、ワクチン義務化、ロックダウンの脅しなど、日を追うごとに激化しているように思えます。ありがたいことに、賞賛する報告があります。宗教上の理由で、接種免除を承認された方から、多数のメールを受け取っています。ええ、多くのパワフルな話があります。一拍手喝采一

幾人かが見極めておられるのは、これは良い見極めですが、基本的に免除承認を得たが、実際には時間を稼いでいるだけであること。なぜなら、最終的には宗教的なものであれ医療的なものであれ、いかなる免除も無効になるからです。悲しいことに、宗教免除の申請をしても承認が得られなかった方もいらっしゃいます。もしもそれがあなたなら、私はあなたを励ましたい。あなたが何をされたとしても問題ではありません。彼らは、あなたにどんな免除も与えるつもりはありません。まだ宗教的免除を申請していない人のために私たちはこれを用意していますので、利用ください。まだ宗教的免除を申請していない人のために、私たちはこれを用意していますので、利用ください。先週の8月22日のアップデートを参照してください。JDFarag.orgのウェブサイトでのその要望の出し方について非常に詳しく説明しています。これは、オンラインメンバーのために用意しています。ところで、私たちがよく聞かれるのが、“どうすればオンラインメンバーになれるのですか？”です。聞かれる準備はいいですか？ 言いますよ。オンラインをご覧になるだけです。それでオンラインメンバーです。私が牧会する特権を持つこの神の教会の美しい兄弟姉妹を見ていただきたいと思います。ところで皆さんは、素晴らしいです。本当に素晴らしいのです。ここでも、会員制はありません。正式な会員制はありません。そのままのご自分で来てください。ありのままのご自分で。一拍手一

ですから、オンラインメンバーになるためには、おめでとうございます！オンラインでご覧になっているなら、もうオンラインメンバーです。これは私の理解では、保守的な数字かもしれませんが、神がいかにも素晴らしいご存在であるかを物語っているのでお伝えします。ウェブサイトのマスターズメールで25,000通以上の宗教免除書類を送付しましたのでたくさんサインしました。たくさんサインをしたので、私が手根管症になったら、それが理由です。しかし、何かの難があって、まだ受け取っていない人もいます。お知らせしたいのは、ホームページにアクセスすると、- 宗教免除書類タブはホームページ上です。- 情報を入力し、“送信”を選択してリクエストを送信してください。しかし、もしお困りの場合は、リソースメニューに、サポートセンターがあります。リソースをクリックすると、下に“サポート”が表示されます。このページに移動すると、いくつかのカテゴリーが表示されます。ビルボードのカテゴリーや、この後説明する、「救いのABC」のカテゴリーなどがあります。ライブ配信、オーディオ、ウェブサイトなどで問題が発生した場合は、私たちはこれらの全カテゴリーを用意しています。免除書類についてのカテゴリーも作りました。右下に表示されています。失礼しました。画面写真の通りです。それを選択すると、“よくある質問”のページが表示されます。一番上に、“リクエストを送信”があります。私たち

がそれに対処していることを知って頂きたいと思います。この教会には、神が祝福してくださった最高に素晴らしいスタッフがいます。私たちはタイムリーに対応し、また、宗教免除書類の申請をされる場合は、できる限りのサポートをします。この件に関して、もう一つお伝えします。これは大変重要です。先週、"A Voice For Truth/真実の声"のウェブサイトについて参照しましたが、ワクチン研究における、墮胎した胎児組織に関する物凄い資料があるウェブサイトです。徹底的に文書化されています。どうやら先週は問題があったようで、エラーメッセージが出ていたようです。私たちのスタッフのレーンが、A Voice For Truth/真実の声 に連絡を取り、リンクを復旧させました。そして、今日の動画に再度追加しました。なぜこれが重要なのか？ あなたが要望される宗教免除書類には、この理由が書かれているからです。それが必要になってきます。実際、宗教免除書類を提出する際、この文書を印刷して添付することを強くお勧めします。なぜなら、これらのいわゆるワクチンには、墮胎された胎児組織が含まれているからです。はい、ここにはたくさんの、先に進む必要があるから、この件については、あまり深入りしたくないのですが、しかしこれは、挑戦することになるでしょう。"何を"だけではなく、"なぜか"を知る必要があります。自分が信じる理由、自分が信じる事を、あなたが知る必要があります。なぜなら、彼らはあなたに責任を負わせるからです。医療関係のオンラインメンバーが1名、リクエストを出されました。彼女は免除を承認してもらったのです。しかし彼らは、彼女を徹底的に問い詰めました。彼女はこの文書をすべて、彼らに説明しなければなりませんでした。そして、注意して聞いてください。敵は、私これから言うことを皆さんに聞かせたくないのです。しかし、神がこれを使って、人々をキリストに導くことができると私は信じています。あるオンラインメンバーが、この文書を雇用主に提出したところ、因みに彼らは敵ではなく、宣教対象者です。雇い主は、その信用度の高さに驚愕したのです。

「私はこれを知らなかった。」彼らは知らないのです。彼らはこれを知らないのです。今回の具体的なことだけでなく、敢えて言えば、この問題の向こう側にいる大多数の雇用者や人々は何も知らないでしょう。もしかして、神はこの時のために、このために、あなたを備えられたのでは？ 神がこのことを利用して、彼らをキリストに導かれはしないと、どうやって言えますか？ OK。

繰り返しますが、冒頭でも述べたように、今日のアップデートは、本当に必要な希望と励ましのメッセージです。真実をご存知の通り、神が長年に渡って私を励ましてくださった励ましで、皆さんを励ましています。私が長年に渡り、主から受けてきた慰めを、皆さんにも伝えたいと思っています。

「第二コリント 1章」3節から7節をお読みします。

第一コリント 1章

3 私たちの主イエス・キリストの父である神、あわれみ深い父、あらゆる慰めに満ちた神がほめたたえられますように。

4 神は、どのような苦しみのときにも、私たちに慰めてくださいます。それで私たちも、自分たちが神から受ける慰めによって、あらゆる苦しみの中にある人たちを慰めることができます。

5 私たちにキリストの苦難があふれているように、キリストによって私たちの慰めもあふれているからです。

6 私たちが苦しみにあうとすれば、それはあなたがたの慰めと救いのためです。その慰めは、一聞いてください— 私たちが受けているのと同じ苦難に耐え抜く力を、あなたがたに与えてくれます。

7 私たちがあなたがたについて抱いている望み揺るぎません。なぜなら、あなたがたが私たち苦しみをともにしているように、慰めもともにしていることを、私たちは知っているからです。

ああ、これが書かれた文脈について説明する時間があればいいのですが。パウロが聖霊によって何を言っているか分かりますか？ 元気を出すのです。私は「これでおしまい！これが終わり方なんだ。」と何度も思ったこともありましたが。神はそこにおられ、神は私を慰め、力づけ、励ましてくださいました。なぜか分かりますか？ それは、私が皆さんを慰め、力づけ励ますためでした。皆さんが経験していることを私が経験しているからです。私はずっとこれを受け取る側だったのです。神の御言葉と、神の恵みの権威の下私は皆さんに証言します。神は決して皆さんを失望させません。神は皆さんを必ず見守ります。これは困難だと分かっています。悪く見えるのは分かります。私は、自分のツイクラグがあった時期もありました。もう声も出せないほどの状態でした。ただ、その内なる叫びでした。泣く事さえできませんでした。喘ぎ声すら出せない状態でした。つまり、自分自身の終わりでしたこの聖書を片手で持っていたのを覚えています。だから、この聖書は絶対に手放さないのです。手の中でバラバラになっても構いません。しかし、私は片手に聖書を持ち、もう片方の手には瀕死の状態の娘がいました。彼女の体重はわずか5ポンドでした。神は私を慰め、力づけ、励ましてくださいました。私は、その杯から味わったのです。皆さんに共有したいと思います。同様に、神はあなたを慰め、力づけ、励ましてくださいます。どんなに状況が悪くとも問題ではありません。神の良さは変わりません。ここで突然、角を曲がって締めくくりに入るのをお許しく下さい。でも、他にどう言ったらいいのかわからないのですが、私たちは終わりが大変間近です。いえ、そういう意味です。「ああ、でも牧師さん、あなたは毎週そう言っていますね。」分かっています。でも1週間分終わりに近づいています。「ええ、でも牧師さん、本当に酷くなっていますよ。」たとえ、かなり悪い状況になったとしても、そしておそらくそうなるでしょうが、神は最後まで耐え抜く力を与えてくださいます。それが今日の(第二礼拝)「へブル人への手紙」のタイトルです。最後に言わせてください。イエスを人々に、人々をイエスに出来るだけ早く導くための、今がその時、今日がその日です。これがこのアップデートをする理由です。これが、福音/イエス・キリストにある救いの良い知らせで締めくくる理由です。これが、福音/イエス・キリストにある救いの良い知らせで締めくくる理由です。これが、「救いのABC」という子どもにでも分かるシンプルな救いの説明で締めくくる理由です。これが、「救いのABC」という子どもにでも分かるシンプルな救いの説明で締めくくる理由です。福音/ゴスペルとは何でしょうか？ 福音とは、イエスが(地上に)来られ、十字架に掛けられ、葬られ、3日目によみがえられたこと。そしてイエスは、いつかまもなく大変まもなく戻って来られます。誰もが想像するよりもずっと間近だと確信します。

Aは、繰り返しますが、これは救いの説明です。それは、この「Admit/認める」ことから始めます。何を認めるのか？ それは、この「Admit/認める」ことから始めます。何を認めるのか？

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、また自分には救い主が必要であると Admit/認める

ローマ人への手紙 3章 10節に書かれています。

「義人(正しい者)はいない。一人もない。」

ローマ人への手紙 3章 23節がその理由を語ります。

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

私たち誰しもが罪びととして生まれました。ですから、イエスが仰るように、神の御国に入るためには、新生しなければならないのです。

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」(ローマ 3:23)

ローマ人への手紙 6 章 23 節、まず悪い知らせがあって、それから福音の意味の良い知らせがあります。「あなたの負債は支払われ、あなたの罰則は実行済です。自由に行ってよろしい。」良い知らせ（福音）です。それがゴスペル/福音という言葉の意味です。どうしてそんなことができるのか？ なぜなら、私はすでに死刑を宣告されています。

「罪の報酬は死です。」（ローマ 6:23a）

それが悪い知らせです。しかし、良い知らせがあるのです。

「神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」（ローマ 6:23b）

そして B。これは大変重要で中心なのです。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、**「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせた」と信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10:9）**

ただ信じるのです。そしてあなたが罪の赦しのために、救い主を信じ、信頼を置くとき、表現するのは、イエスに呼びかけることです。それが C です。C：主の御名を Call/呼び求める表現するのは、イエスに呼びかけることです。それが C です。C：主の御名を Call/呼び求める

また再度、ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、

「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせた」と信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10:9）

「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」（ローマ 10:10）

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節です。

「主の御名を呼び求める者はみな救われる。」（ローマ 10:13）

私は今日、あなたに懇願します。永遠の命のための最も重要な決断を先延ばしにしないでください。あのラッパが今にも鳴りそうなのです。もう 2 分いただけますか？ もう一つの創造的な ABC の話を紹介したいと思います。因みに、ウェブサイトにはビルボードに関するすべての資料が掲載されていて、多くの人が、ハワイにはビルボードはありません。だからこそ、神にはユーモアのセンスがあらわれるのだと思います。神は、文字通り世界中、特にアメリカ本土にビルボードを設置するために、ビルボードがない州にある島、オアフ島東部のこの無名のミニストリーを用いられています。これは、インディアナ州のオンラインメンバーからです。

「もともと 3 台のビルボードを始めました。1 台はインディアナ州のシェリダンにあり、あとの 2 台は、インディアナ州ノーブルズビルにあります。私はシェリダンという小さな町の出身で、そこには今でも友人や家族がいます。現在、ノーブルズビルに住んでいます。聖霊に導かれ、三位一体の 3 から 3 台のビルボードを設置することになりました。ビルボードが揚げられた月は 10 万人近くの人々に辿り着くことができました。その場所は、私の人生のスタート地点から現在いる場所までの道のりを示しています。神は、私を信じられないほど祝福してくださいました。このような大きな方法で、福音を伝えられることに喜びを感じています。誰も私がこれを成し遂げられるとは思わないでしょう。私はシングルマザーで、自分で仕事をしています。しかし神は、ご存知でした。1 台目のビルボードが掲載されました。主は福音を広めるために、より多くの指示を与えてくださいました。私の高校時代の親友とその夫は、ノーブルズビルのビルボードの 1 台を継続するため私と提携しました。私たちは、半年間の契約に専念しました。現在のビルボードは、1 週間に 75000 回表示されます。より多くの人に表示して人々に辿り着けるよう、

この1台だけ継続する予定でした。しかし、神は私たちをシェリダンに呼び戻されました。(彼女は括弧でソドムとゴモラと書いています)9月14日から6ヶ月間、シェリダンのビルボードのスポンサーです。

(そして彼女はこう続けています。これは私にとって大変興味深いです。)

私たちの「救いのABC」を引き継いだ広告は、UI病院です。このような広告を出したUIビルボードは、地元にはなく、他に見当たりません。UI病院は、この機会に、敵が国を欺くために利用している全地点を押さえました。その広告は、お聞きください。ワクチン接種した黒人男性が、接種箇所にハートのシールを貼っている広告です。灯りのついた十字架を背景に、教会にいるように見えます。欺瞞の極みです。

「救いのABC」で、このビルボードのスポンサーになれることは祝福です。神はとても良いお方です。

「ローマ人への手紙8章28節」は、私の人生に様々な形で語ってくれます。」誰が知っていたのでしょうか。主を褒めたたえます。一拍手喝采ー ご起立下さい。賛美チームが上がってきます。皆様のご忍耐に感謝します。まだ時計を見ないでください。皆さん、大変寛大です。それを感謝します。

あ〜主よ、ありがとうございます。主よ、私は分かっています。私がこのことを言い、祈っているのは、今日ここにいる、またオンラインで見ている貴重な兄弟姉妹の同意を得てのことですが、あなたがこれを使って、多くの人をイエスのもとに導かれることが、はっきりと分かって来ています。私たちにとって、その一部を担えるのは、大変な特権です。私たちが、人類歴史の、この時代に生きているというだけで。確かに怖いのですが、確かにワクワクします。私たちは、次に何が起こるのか知っているからです。ですから、主よ、あなたが、文字通り地球の最果てまでたどり着くよう、今日これを使ってくださいますよう祈ります。そして、今日たった一人があなたのもとに来るだけでも、私たちが今日ここで行ったことは価値があるのです。主よ、お願いします。私たちを用いてください。

ここに私たちがおります。私たちを遣わしてください。(イザヤ 6:8 参照)

私たちを用いてください。最後に主よ、どうか早く来てください。主イエスよ、早く来てください。(マラナタ) (黙示録 22:21) イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7